

部署名	保健福祉部
役職・氏名	部長 土井 和子



**● 部の使命**  
 保健福祉部では 市民の皆さんが、“健やかでいきいきとした暮らし”ができるユニバーサルデザインのまちづくりの推進のため、赤ちゃんから高齢者や障がい者等が、住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らすための保健福祉行政をより一層推進します。また、急速に進行する少子高齢化社会に、これまで培われてきた市民力を結集し、地域が一体となって支え合い、誰もが地域社会の中で安心して暮らすことができるよう、保健・医療・福祉施策等の充実したまちづくりを目指します。

- 部の基本方針**
- ①障がい者がいきいきと暮らせるまち、生活困窮者が自立できるまちを目指して、必要な障害福祉サービスや自立できる就労支援を提供します。
  - ②安心して笑顔で子育てできるまちを目指して、悩みや不安を抱えた家庭の孤立を防止し、支援を要する子どもや家庭に対して、最善の環境が確保できるよう家庭の事情にあった支援を行います。
  - ③健やかに暮らせるまちを目指して、地域の健康づくり組織と協働して、市民個人や地域のニーズに合った心と身体の健康づくりの支援を推進します。
  - ④高齢者を地域ぐるみで支え合うまちを目指して、社会福祉協議会や関係機関など、地域に住む人々のネットワークにより、介護が必要になっても高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちをつくりまします。

**●平成25年度 部のスローガン** ~ 傾聴 ~ そして、心を動かそう！

部署内経営資源						
構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	一般会計	4,320,239 千円
	101	132	233		特別会計	3,859,055 千円
						( 886,884 )千円

保健福祉部 重点事項					
重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
1	<p>障害福祉サービスの充実</p> <p>障がい者等の生活介護サービスの充実を図り、グループホーム、ケアホームの増設により、居住基盤の整備の促進をします。</p> <p>地域生活支援センタースマイル(指定管理)での生活介護サービスの提供をします。</p>	<p>就労継続支援(B型)事業所は現在、市内1事業所のみ(24年度県補助により1事業所がH26.4長船町福岡に開所予定)のため、25年度県補助申請をする。(1事業所(開所H27.4)邑久町)</p> <p>スマイルでの生活介護サービスの利用者を定員の6名まで増やす。(H24は3名)</p>	<p>社会福祉法人アストラ会が設立され、グループホーム・就労継続B型開所に向け造成建築準備中。</p> <p>定員6名で利用者3名。</p>	<p>グループホーム用土地造成終了、建物建築中</p> <p>定員6名で利用者4名。</p>	<p>4月26日開所予定</p> <p>平成26年度から定員6名で利用者6名の予定</p>
2	<p>ジョブスポットせとうちでの就労支援事業の充実等</p> <p>生活保護受給者、障がい者、母子家庭等子育て女性に対して、その方に合った自立に向けての就職・生活支援を行います。また、失業状態の長期化等により、不安を抱え専門の心理カウンセラーが必要な方に対し、心理カウンセラーによる対応をします。</p>	<p>支援対象者の目標就職率:生活保護受給者60%、障がい者60%、子育て女性84%</p> <p>出前相談(子育て支援センターやママカフェ等に出向き相談支援を行う)目標100人</p>	<p>就職率:生活保護受給者38.5%、障がい者11.1%、子育て女性34.3%</p> <p>出張相談15人</p>	<p>就職率:生活保護受給者27.8%、障がい者27.0%、子育て女性66.2%</p> <p>「就職面接会」を開催し1人就職</p>	<p>就職率:生活保護受給者36.8%、障がい者29.7%、子育て女性67.5%</p> <p>「就職面接会」を開催し1人就職 出前相談を1回開催</p>

保健福祉部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
3	<p>子育て環境の充実</p> <p>高まる保育ニーズへの対応、既存保育施設における保育環境の充実や発達障害等の支援をするため特別支援保育施設の設置準備を検討します。</p> <p>子育ての孤立化や児童虐待を予防するため、乳児全数訪問を実施し、安心して子育てができる環境づくりに取り組みます。</p>	<p>発達障害児の支援施設や認定こども園等の検討。「こども、子育て支援計画アンケート調査」により保護者のニーズを把握する。</p> <p>乳児全数訪問対象者約210名</p>	<p>発達障害児相談窓口、26年開設に向けて準備中。</p> <p>アンケート回収済み(回収率51%)計画どおり進行中</p> <p>乳児全数訪問予定通り実施中。</p>	<p>発達障害児相談窓口を26年度より福田支援センターに開設予定、予算計上済み。</p> <p>アンケート結果集計完了。</p> <p>乳児全数訪問予定通り実施中。</p>	<p>発達障害児相談窓口設置、及び施設取得に向けた予算措置を含めて予定通り実施済み。</p> <p>アンケート結果について予定とおり集計済み。</p> <p>乳児全数訪問予定通り実施済み</p>
4	<p>働き盛りの心と体の健康づくりの推進等</p> <p>働き盛りの年齢の方が受診しやすいよう特定健診や各種がん検診を日曜日や夜間に実施します。また、特定健診と各種がん検診を一度に受診していただく国保総合検診や各種がん検診をまとめて受診していただくがん総合検診を実施します。また、クレアチニンと尿酸の検査項目を増やし、魅力ある検診内容とします。</p> <p>「保健福祉フェスタ」で心と身体の健康づくりの推進、「ベジもっとフェスタ」で食育の推進を図ります。</p>	<p>特定健診受診率目標値:40%</p> <p>胃、大腸、肺、子宮、乳がんの各がん検診受診率の目標値:前年度比 1%の増</p> <p>各種がん精密検査受診率の目標値:前年度比1%の増。</p> <p>市民の皆さんの個々のニーズに合った健康管理や地産地消の必要性を各イベントで実行委員会が中心となり普及する。(保育園給食における地場産物使用率:30%(前年比1%増))</p>	<p>国保総合健診ではクレアチニン、尿酸の検査項目を増やし検診内容を充実、また受診しやすいよう日曜日や夜間の検診を実施した。前年比(10月末)</p> <p>胃がん -0.9%</p> <p>大腸がん +0.3%</p> <p>肺がん -1.2%</p> <p>子宮がん -0.6%</p> <p>乳がん +0.3%</p>	<p>「保健福祉フェスタ」において、心と身体の健康づくりを推進し約4,000人の参加があった。「ベジもっとフェスタ」では地産地消の普及と食育を推進し、約400人の参加があった。</p>	<p>・特定健診受診率 H25=29.1%</p> <p>【がん検診】(前年比)</p> <p>胃 (-1.7%) 男=18.9% 女=21.1%</p> <p>大腸(+0.5%) 男=21.8% 女=24.9%</p> <p>肺(-0.3%) 男=28.3% 女=35.0%</p> <p>子宮(-1.5%) =38.8%</p> <p>乳(-0.8%) =25.7%</p> <p>【次年度・子宮頸がん検診は、委託医療機関(岡山市)でも個別検診可能であることの普及啓発を行い受診率アップに繋げる。】</p>

保健福祉部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況 (9月末現在)	進捗状況 (1月末現在)	達成状況 (3月末現在)
5	<p>高齢者介護予防と見守り安心ネットワーク事業の推進</p> <p>運動機能向上や栄養改善、口腔機能の向上のための事業を実施し、事業終了後、自主グループとして引き続き地域への拠点ができるよう支援します。</p> <p>支援を必要とする高齢者を早期に見出し、地域の民生委員児童委員等のネットワークによる見守りや声掛けにより高齢者の安全、安心を守ります。</p>	<p>介護予防(一次予防)事業を市内のふれあいサロンで開催し、継続していただくため地域のリーダーを養成します。リーダーの養成目標:20人</p> <p>二次予防対象者教室での参加者への効果判定目標:高齢者人口の16.3%(H.24、15.3%)</p> <p>認知症サポーターの養成目標:H25、180名(H24、152名)</p> <p>「災害時要援護者支援システム」の随時受付。 9月末、登録者数3,576人</p>	<p>介護予防応援隊養成 牛窓、長船 延人数300人 呂久 1月より実施</p> <p>運動器の機能向上健康アップ 延参加者数96人 はつらつ教室 延参加者数 60人</p> <p>4/1~9/30 新規登録 10人</p>	<p>介護予防応援隊養成 延人数 407人 運動器の機能向上健康アップ 実人数56人、延参加者数 444人 はつらつ教室、実人数99人、延参加者数 753人 口の健康教室 実人数 11人、延参加者数72人、 「災害時要援護者支援システム」4/1から1月末、新規12人</p>	<p>・二次予防事業参加率(運動機能向上) 健幸アップ教室【実】56人【延】569人 参加率5.3%(口腔機能向上) 健口アップ【実】11人【延】72人 参加率1.2%(一次予防事業) はつらつ教室【実】99人【延】868人</p> <p>・認知症対応研修2回開催【延】131人 ・施設職員対象の認知症対応研修1回開催:20人 ※たすけ合い台帳 3,598人</p>
6	<p>保健、福祉、医療連携の推進(保健、福祉、医療の総合窓口としてトータルサポートセンター準備室の設置)</p> <p>医師会、介護保険事業者、介護支援専門員、薬剤師会等とのネットワークを構築します。</p> <p>各課を横断する問題や権利擁護に関する検討が必要な事案に対する調整を行います。</p>	<p>各課を超えての事案に対して、ワンストップ窓口や医療、福祉機関などの関係機関が連携を図るしくみをつくる。</p>	<p>・各課を超えての事案に対する支援会議実施60件。 ・総合相談実数86件 延数389件。 ・多職種連携のための会議24回。研修会5回。 ・権利擁護に関する研修・検討会6回</p>	<p>在宅医療・保健・福祉連携協議会開催2回。 ・多職種連携に関する研修会開催7回215人。 ・市民向け在宅医療推進講演会開催。柳田邦男1回300人。 ・権利擁護支援システム検討委員会3回。 ・権利擁護アドバイザー会議10回。</p>	<p>在宅医療・保健・福祉連携協議会開催3回。課題と事業について協議した。 ・多職種連携に関する研修会開催9回344人 権利擁護システム検討会6回。権利擁護センターの設置決定。 ・権利擁護アドバイザー会議12回。 ・総合相談件数750件 ・支援会議開催106回。 ・ホームページ作成。</p>